



NEWS LETTER

2025(令和7). 7 vol.3

発行：摂食障害治療支援センター設置運営事業 摂食障害全国支援センター
 一般社団法人日本摂食障害協会

世界摂食障害アクションデイ 2025 開催 各界から届いた応援メッセージを発信 立場を越えてつながり、力を合わせて 摂食障害支援の輪を広げていこう

世界中で摂食障害の啓発・支援を呼びかける「World Eating Disorders Action Day」に合わせ、今年度も、日本における摂食障害治療・支援について考え、行動する日として「世界摂食障害アクションデイ」が開催されました。新たな試みとして治療者、経験者、自助会など多様な立場の方から届いたメッセージ動画（フラッシュトーク）を上映。摂食障害からの回復を応援し、支援の輪を広げようと訴えました。



厚生労働副大臣
鱈淵 洋子 様

「当事者とそのご家族の皆様から切実な声を受け取っています。引き続き、適切な治療と支援ができる体制整備にしっかりと取り組んで参ります」



文部科学大臣政務官
金城 泰邦 様

「摂食障害は外見から見えにくく当事者の心の痛みが理解されにくい病。社会全体が正しく理解し、偏見や無理解を取り除く努力をしていきましょう」



国立精神・神経医療研究センター
 精神保健研究所 所長
張 賢徳 先生



国立精神・神経医療研究センター
 精神保健研究所薬物依存研究部部長/
 精神科医
松本 俊彦 先生



日本アノレキシア [拒食症]・プリミア [過食症] 協会 (Nippon Anorexia Bulimia Association) **NABA (ナバ) の皆さん**



プロフィギュアスケーター
鈴木 明子 さん

「摂食障害に向き合うあなたに——」
 「必ず道は開けます。一人で悩まないで」
 「夢と希望を持って、焦らず、でもあきらめず、自分を大切にしてください」
 「症状に助けられている部分もあるので3歩進んで2歩下がるくらいで感じてゆくり時間をかけて良くなっていますよ」
 「頑張り過ぎず、何よりも自分の心を大切に、ご自身のペースで前へと進んで行かれることを願っています」
 「報道ができることを考え続けていきたいと思っています。応援しています」
 「摂食障害を抱えながらも、皆さんが自分の力を信じ、より自由に生きていくことを応援しています」
 「苦しい時間もあるけど、あの希望を信じていればきっと大丈夫。楽になるよ」

World Eating Disorders Action Day



イラストレーター・漫画家
hara さん



NPO 法人あかりプロジェクト
 あかりトーク金沢
いづさん、Bちゃん

❖ 摂食障害全国支援センター活動報告

摂食障害全国支援センター センター長
井野 敬子 先生



摂食障害全国支援センターは、摂食障害支援拠点病院を各都道府県に設置することを目指して調整役を担っています。摂食障害支援拠点病院は、昨年度、栃木県と東京都の2拠点が加わり、合計8カ所になりました。拠点病院では相談コールセンターの開設と急性期患者への連携対応に加え、専門家向け研修会等を通して地域全体の医療提供体制の底上げも行なっています。今後も拠点病院の設置と拡充に積極的に取り組むと同時に摂食障害の啓発事業も行なっています。

動画で学ぼう摂食障害（2024年度啓発事業）

一般社団法人日本摂食障害協会 チャンネル：摂食障害やダイエットに関する正しい知識を広め、支援が必要な当事者や家族が適切な情報を得られることを目指す【公益財団法人 三菱財団 社会福祉事業・研究助成】



NCNP（国立精神・神経医療研究センター）
 Channel：摂食障害という病気の特徴や診断基準、治療法、回復のプロセスについて、専門家の視点から分かりやすく解説



厚生労働省
 心の健康支援室 室長
星 克憲 さん



日本摂食障害学会
 理事長
安藤 哲也 先生



NHK
 ラジオセンター
吉永 なつみ さん



読売新聞
 東京本社
西田 真奈美 さん



朝日新聞東京本社
 withnews 編集長
水野 梓 さん

❖ 一般社団法人 摂食障害協会 活動報告

一般社団法人
 日本摂食障害協会
 理事長
鈴木 真理 先生
 学生部のみなさん



昨年度に続き、今年度も世界メンタルヘルスデー連動イベントと家族・当事者・専門家向け講習会を継続。さらに日本財団助成事業としてオンライン相談事業と全国地方自治体の保健福祉センターを対象にした調査を実施。早期受療行動の促進、そして摂食障害支援拠点病院設置の必要性が高い地域情報の洗い出し、拠点病院設置に向けた気運の醸成に力を入れます。

2024年度実施企画

- ・国際デー「世界メンタルヘルスデー」連動企画 オンライン講習会
 テーマ：学ぶ・働くこと摂食障害
- ・家族向け講習会（全3回）
 テーマ：摂食障害の治療法最新情報、医療者、先輩家族への質疑応答、当事者への質疑応答
- 【学生部】
- ・Instagramでの情報発信
- ・啓発動画をInstagram・YouTubeに投稿
- ・当事者、家族向け座談会
- ・SDGs17 パートナリシップフェアでの発表 など



世界摂食障害アクションデイ 2025 ライフステージと摂食障害 ～回復と社会生活を両立するために～

日時：2025年6月1日（日）13:30～15:30 開催：オンライン（Zoom）参加費：無料

主催：摂食障害全国支援センター（国立精神・神経医療研究センター）、一般社団法人日本摂食障害協会

後援：法務省、文部科学省、東京都、大阪府教育委員会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本精神神経学会、一般社団法人日本心身医学会、一般社団法人日本女性心身医学会、一般社団法人日本内分泌学会、一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本臨床栄養学会、日本摂食障害学会、一般社団法人女性アスリート健康支援委員会、一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、一般社団法人日本体力医学会、一般社団法人スローカロリー研究会、一般社団法人日本美容サロン協議会、特定非営利活動法人日本心療内科学会、特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、日本性差医学・医療学会、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会、日本スポーツ精神医学会、一般社団法人ミス日本協会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、ランニング学会、一般社団法人日本スポーツフェア推進機構（順不同・34団体）

参加者：192名（内訳：当事者、ご家族、専門家【医療職、心理職、栄養士・管理栄養士、学校関係者】、友人・知人、メディア・報道関係者など）

アンケート結果：「とても満足（29.7%）」「満足（55.9%）」が合計85.6%となりました（有効回答数84）

*摂食障害の啓発・支援のための国際デー「World Eating Disorders Action Day 2025（www.worldeatingdisordersday.org）」に連動したイベントです。

